

ベトナム国タイビン省にある国立タイビン医科薬科大学と当社との共同事業であるベトナム人看護師養成事業について、最新の情報をお届けします。

## ▶ 優秀な学生の表彰をおこないました



3月22日、前年に優秀な成績をおさめた在学生の表彰と奨学金の授与をおこないました。今年は6期生3名、7期生4名、8期生4名の計11名が選ばれています。

通常、12月には在学生のための交流会が開かれ、そのときに皆の前で表彰されることになっています。しかし昨年・今年と新型コロナウイルスの影響で交流会自体が中止され、昨年はクラスでの表彰をおこないました。今年は日本語のクラスがオンライン授業になっているためにクラスで表彰をすることも難しく、対象者のみが集まって各期別に表彰となりました。

1年間の頑張りを讃えられた学生たちは喜び、これからも頑張ります！と元気に宣言してくれました。対面授業が減ったりJLPTやイベントが中止になったりと我慢の多いコロナ禍ですが、ひとつ明るいニュースになったことと思います。

特に8期生にとっては初めての奨学金ということもあり、誰が選ばれるのか大きな注目を集めていました。みんなの前で受け取れないことは残念でしたが、写真を撮り合うなどして、学生同士で喜びを分かち合っていました。

## ▶ 第111回看護師国家試験の合格発表がありました

3月25日に第111回看護師国家試験の合格発表があり、8名が合格しました。

大学で看護と日本語を4年間学んだ後、9ヶ月間の病院実習を終えてベトナムの看護師免許を取得し、その後の9ヶ月間は朝から晩まで国家試験の勉強に専念してきました。日本の看護師を目指すと決めて日本コースに参加した日から5年半以上も休まず努力を続けてきたのです。

振り返れば、本当にたくさん大変なことを乗り越えてきました。看護の勉強だけでも大変で、大学3年生からは夜勤もあるハードな病院実習に取り組んできました。時には眠い目をこすりながら日本語のクラスに出席しました。また、JLPT N1合格の壁は高く、進路変更によって減っていく仲間を見送りながら何度もJLPTにチャレンジしてきました。コロナ禍で日本への入国制限が続く中、本当に受験できるのか大きな不安もあり、仲間同士励まし合ってきました。大学卒業後の病院実習が終わってからは、ハノイで寮生活をする一方でそれぞれ故郷の家族を案じる日々が続きました。そして、受験のための来日が実現しても、感染予防を第一に考えてほとんど外出することもなく、試験日まで勉強を続けました。受験を終え、ベトナムへ帰国するときの晴れ晴れとした笑顔が思い出されます。彼女たちの長年にわたる努力が実を結んだことを本当に嬉しく思います。

いまはそれぞれ故郷で家族と過ごしている彼女たちですが、これから日本で看護師として働くための準備に取り掛かり、今年、日本で就労を開始する予定です。

【問い合わせ】



株式会社イノベーションオブメディカルサービス

(担当：中馬・福田)

神奈川県厚木市船子 587-1

Tel/046-220-0777

Fax/046-220-0322

Web/http://vietnam-nurse.com/